

科目名	<b>国語総合</b>	教科	国語	単位数	4
教材	①新編国語総合(東京書籍)、②記入してわかるやさしくわしい古典文法ノート(尚文出版)③、カラー版新国語便覧(第一学習社)、④アシスト常用漢字(数研出版)		教材費 (予定定価)	①910円 ③950円	②497円 ④615円

共通履修科目	選択する学年	1
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	国語についての知識を深める。文学作品等の読解を通じ、内容を的確に理解する能力を育む。また、発表や作文等の活動を通じ、内容を的確に伝える能力を育む。また、それらの能力を活かし、生涯にわたって日常の言語活動を豊かにしようという態度を育む。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	音読、板書での解説、調べ学習等を通じ、教材を読み深める。学んだ内容を踏まえ、自分の意見を述べるような、作文や発表の活動を行う。適宜演習プリント等を用い、習熟状況を確認する。
評価方法	定期考査を実施。授業への取り組みの姿勢、提出物の状況、漢字テストの結果などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) ・現代文 随想石川直樹「海流 ミクロネシア」、角田光代「待つということ」 ・古文 古典に親しむ(竹取物語、平家物語、源氏物語、徒然草ほか) 児のそら寝(古今著聞集)	作者の考えと具体例を分けてとらえ、順を追って読み深める。 それについて自分の意見を持ち、発表する。 古典的仮名遣い、用言の活用を学び、読解を深める。 当時の風俗への理解を深め、現代と比べ読み味わう。
(2学期) ・現代文 小説 芥川龍之介「羅生門」 ・古文 うつくしきもの(枕草子)	登場人物の心情を深く掘り下げて読み味わう。 小説のおもしろさを自分なりに表現する。 助動詞の活用を学び、読解を深める。 当時との価値観の違い等を学び、現代との違いを考える。
(3学期) ・漢文 春暁(唐詩選)、贈汪倫(李太白文集) ・現代文 小説 三浦哲郎「とんかつ」	漢文の構造を学び、読み味わう。 登場人物の心情を深く掘り下げて読み味わう。 味わった内容を、自分の言葉で表現する。

評価の観点

関心・意欲・態度	古今の文芸作品、評論を読む楽しさを味わい、人生を豊かにする態度を育てる。作品への関心を高め、幅広い学びに繋げる意欲をもつ。
話す、聞く能力	作者の主張や作品内容に触れ、感じたことを自分で説明する。また、互いに解釈を聞きあう。
書く能力	作者の主張や作品内容に触れ、感じたことを自分の言葉にして残す。それを伝えるための手段を工夫する。
読む能力	作者の主張や作品内容を的確に読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにして読み味わう。評論的文章の内容を的確に読み取り、自分の意見をもつ。
知識、理解	作品理解に役立つ文法、表記、語句、語彙、漢字等の知識を身に付けている。作品の背景となる事象を適宜理解する。

科目名	<b>国語表現</b>	教科	国語	単位数	2
教材	①国語表現改訂版(大修館書店) ②国語表現改訂版基礎練習ノート(大修館書店)	教材費 (予定定価)	①400円 ②702円		

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	2
------------------------------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	漢字、文章の組み立て方など、文章を書くための基礎を学びたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	よい文章を書くための基礎である、正しい表記に対する知識と理解を深める。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	具体的に目的を設定した作文練習を積むことで、言葉の運用力全般を高める。
評価方法	定期考査を実施。課題への取り組みの姿勢・提出物の状況・小テストの結果などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 簡単な作文 「整った文を書く」 「わかりやすい文を書く」 「文のつなぎ方」	身近なことについて簡単な文章を書く。 適切な用字用語に関する知識・理解を深める。 文章による伝達に必要な基本を学ぶ。
(2学期) 文章の要約・小論文 「小論文・レポート入門」 「自己PRと面接」	やや複雑な内容について文章を書く。 自分を他者に的確にアピールする。
(3学期) 手紙の書き方 「メディアを駆使する」	手紙の書き方を習得する。 場面に応じた言葉遣いを身に付ける。

評価の観点

関心・意欲・態度	国語による表現に関心をもち、相手の立場を尊重しつつ自己の主張や思考を効果的に表現し、社会生活にそれを活用することができる。
話す・聞く能力	積極的に自分の意見を発表し、真摯に他の意見を聞くことができる。
書く能力	言葉遣いや文体を工夫した文章を書き、自らの表現をより良いものにすることができる。
知識・理解	常に新しい情報・知見を獲得する態度をもちつつ、それを自らの言語表現活動に生かすことができる。

科目名	現代文B	教科	国語	単位数	3
教材	①明解現代文B(三省堂) ②新常用漢字必携パーフェクトクリア(尚文出版) ③カラー版新国語便覧(第一学習社)	教材費 (予定定価)	①865円 ②561円 ③950円		

共通履修科目	選択する学年	2
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高める。 多くの文章に触れることによって、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	近代以降の様々な文章を読み解きながら、内容についての理解を深める。また、他者の意見を聞き、感想や自分の意見をまとめることで、考えを深める手立てとする。
評価方法	定期考査を実施。授業での漢字テスト、課題への取り組みの様子、提出物の状況などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 随想 俵 万智「葉桜の頃」 評論 長谷川真理子「コンコルドの誤り」 小説 内海隆一郎「芋ようかん」 評論 松沢哲郎「想像する力」 詩 中原中也「汚れちまった悲しみに」 新川和江「耳の秋」 入沢康夫「未確認飛行物体」	文章の構成に着目して要旨を捉える。  文学的な文章を読んで、人物の生き方やその表現の仕方などについて話し合う。  文語による定型の詩の特徴を理解し、さまざまな表現形式による現代詩のおもしろさを味わう。
(2学期) 随想 佐藤雅彦「前の駅出ました」 小説 井上ひさし「ナイン」 随想 飯間浩明「反対語を意識して考えよう」 評論 原研哉「持たないという豊かさ」 実用の文章1 手紙とメール	認識における視点の切り替えの重要性、また文法においては、副詞の正しい使い方を知る。 登場人物たちの人間関係と、そこから生まれるそれぞれの思いを理解する。小説の構成を知る。 日常生活の中で使っている言葉がもつ問題点を知る。 評論における重要なキーワードと、それをとおして導き出される論理を理解する。  手紙とメールの文章の違いと、それぞれの書き方を理解し、実用文を書けるようにする。
(3学期) 小説 夏目漱石「こころ」 短歌 ただ一枚の絵はがき 短歌十二首	登場人物の行為や心情に対する理解を深め、小説の主題について、自分なりの見解を形成する。 それぞれの短歌の表現上の工夫と、それによって描かれている情景や心情を捉える。

評価の観点

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりについての理解を深め、知識を身に付けている。

科目名	現代文B	教科	国語	単位数	3
教材	①明解現代文B(三省堂)、②新常用漢字必携パーフェクトクリア(尚文出版)、③その他		教材費 (予定定価)	(2年より継続)	

共通履修科目	選択する学年	3
--------	--------	---

学習目標 (どのような力をつけるのか)	近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	近代以降の様々な文章を読み、内容について理解を深め、意見や感想をまとめたり、発表したりする。
評価方法	定期考査を実施。考査および、授業における漢字テスト、提出課題等を総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 随想 さくらももこ「春の小川の思い出」 随想 小川洋子「誰の目にも触れないところで」 評論 岩井克人「ホンモノのおカネの作り方」 詩 吉原幸子「ユメカサゴ」 話す・聞く 自己PRをしよう	身近なできごとを取りあげた随想の中に表現されている心情やものの見方を捉える。 筆者のものの捉え方を理解し、自分の身の回りの経験に即して考える。 具体例とそこから導き出される論理とを整理してまとめる。 詩の中で形象化されているイメージがどのようなものであるのかを読み取る。 自分の長所を客観的に捉え、整理して文章を書き、模擬面接の中で聞かれたことを実際に表現する。
(2学期) 随想 茂木健一郎「最初のペンギン」 評論 鷺田清一「『自由』のはき違え」 評論 加藤周一「知るということ」 小説 恩田陸「ピクニックの準備」	新しい発想や着眼点から書かれた随想を読み、人間と人間が生きる社会とはどのようなものかを捉える。 文章の中での重要語句(キーワード)に着目し、どのようにして結論に至るか、その道筋を捉える。 一つずつ段落を追い、結論へと至る論理展開の流れをつかみ、筆者の主張を捉える。 登場人物のそれぞれが置かれた状況とその思いを捉える。
(3学期) 評論 別役実「なまけものコンプレックス」 書く 自分の意見を書こう	具体例をとおして語られる現代人間社会への批評的視点を捉える。 「かけがえのない未来」を読んで、自分の意見を文章で表現する。

評価の観点

関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。
書く能力	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。
読む能力	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。

科目名	<b>古典A</b>	教科	国語	単位数	2
教材	①古典文学選 古典A(教育出版)、②記入してわかるやさしくわしい古典文法ノート(尚文出版)		教材費 (予定定価)	①645円 ②496円	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	2
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	古典に興味をもち、生涯にわたりそれに親しめるよう積極的に学習に取り組む人。発表、グループワークに意欲的に取り組む人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	古典の面白さを知ることを通して、伝統、文化に対する理解を深める。基本的な文法的知識に基づいた、古典の読解力、理解力を養う。多様な形式のグループワーク、表現活動を通じて、古典をより身近に感じ、生涯にわたって古典に親しむ態度を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	古典的仮名遣い、新出単語、文法事項等を理解する活動と、多様な形式の発表活動を通じて読解を深める言語活動の2面構成とする。教科書に即した独自のプリントをもとに活動する。グループワークも適宜行う。
評価方法	定期考査を実施。授業への取り組みの姿勢、1回ずつの授業の課題の状況などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) ・古文 筒井筒(伊勢物語) 中納言参り給ひて(枕草子)	動詞の活用等1年次に習得した文法的知識を確認する。歴史的仮名遣いを理解する。音読の習慣を身に付ける。適宜バズセッション方式を用い、グループワークと発表活動を通じて、作品を読解する。当時の代表的な作家の作品とその背景を学び、古典に親しむ素地を身に付ける。
(2学期) ・漢文 先従隗始(十八史略) ・古文 三船の才(大鏡)、面影ばかり(建礼門院右京大夫集)	句法、返り点、置字等、読解のための知識を身に付ける。インタビュー形式、創作現代語訳等、自分なりの表現方法で、学んだ内容を互いに共有する。助動詞等1年次に習得した文法知識をさらに深める。辞書の引き方を学ぶ。当時の社会背景を、調べ学習を通じて学び、発表し合うことで、作品の読解に役立てる。
(3学期) ・古文 光る君誕生(源氏物語)	尊敬語、謙譲語等の敬語の知識を深める。自分なりに読解を深め、発信方法を自ら選択し、互いに発信する。そのフィードバックを受け、改善して最終発表をする。

評価の観点

関心・意欲・態度	古典を読む楽しさを味わい、人生を豊かにする態度を育てる。作品解釈に必要な文法知識、当時の風俗への関心を高め、幅広い学びに繋げる意欲をもつ。
読む能力	古典に現れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにする。内容や表現の特色、現代との価値観や風俗の違いを理解して読み味わう。
知識・理解	古典の理解に役立つ文法、表記、語句、語彙、漢字等の知識を身に付けている。古典特有の表現を味わい、古典の言語と現代の言葉について理解している。

科目名	<b>古典B</b>	教科	国語	単位数	4
教材	①高等学校 標準古典B(第一学習社) ②記入してわかるやさしくくわしい古典文法ノート(尚文出版)	教材費 (予定定価)	①905円 ②496円		

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術(2)・ビジネスコミュニケーション(3)
---	--------	------	---------	-----------------------------

自由選択科目	選択する学年	2・3
--------	--------	-----

選択の条件	なし
選択のめやす	古典読解のための確かな知識を身に付けたい人。歴史に興味がある人、人間に興味がある人。日本最古のSFと言われる作品や四字熟語のもとになった話などを学ぶ。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	古典としての古文と漢文を読む能力を養い、理解や関心を深めることにより、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人生を豊かにする態度を育てる。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	古典(古文・漢文)を読み、内容を理解し、その歴史的背景等も考察していく。予習・復習を欠かさず、授業中も積極的に自らの考えを発表すること。
評価方法	定期考査を実施する。その他、授業への取り組みの姿勢・提出物の状況・小テストの結果などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 古文 小式部内侍が大江山の歌の事<古今著聞集> 亀を買ひて放つ事<宇治拾遺物語> かぐや姫の昇天<竹取物語> 漢文 故事・寓話等	古典の言葉に慣れ、用語の活用、助動詞の意味、漢文の句法等を知る。  語句の意味、文章の構造を理解する。  内容を的確に理解し、文章に表れた感情を読み取る。
(2学期) 古文 初冠・通ひ路の関守<伊勢物語> 門出・源氏の五十余巻<更級日記> 漢文 漢詩等	文章に表れた人間や社会に対する考え方を読み取り、理解を深める。  様々な人物像を通して、人間の生き方についての考えを深める。
(3学期) 古文 光る君誕生・若紫<源氏物語>	

評価の観点

関心・意欲・態度	伝統的な言語文化に触れ、古典を読む楽しさを味わい、我が国の伝統と文化に対する関心を深め、人生を豊かにしようとしている。
読む能力	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、ものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。内容や表現の特色を理解して読み味わうことができる。
知識・理解	古典の理解に役立つ文法・表記・語彙等の知識を身に付けている。古典特有の表現を味わい、古典の言語と現代の言葉について理解している。

科目名	<b>現代文演習</b>	教科	国語	単位数	2
教材	①LT現代文LT1(浜島書店) ②担当者作成プリント		教材費 (予定定価)	①589円 ②なし	

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術・子どもと暮らし
-----------------------	--------	------	---------	-----------------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	3
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	現代文に関する知識、現代文を読み解くための確かな力を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	一定の手順に従って論理的に考えることで文章全体をつかむ力と要約文にまとめる力を総合的に身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	形式段落ごとに短く区切って正確に読み、中心文を探し、段落メモをまとめながら段落の役割を考える練習をすることで、文章の構成を正確につかむ読み方を身に付ける。
評価方法	定期考査を実施。授業への取り組み(活動の様子、課題の提出状況、小テストの結果)などを総合的に判断する。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 随筆、社会論、思想的文章、小説	各学期、それぞれのジャンルの文章に関して  問題解答に必要な漢字・語句・文法・表現効果・出典作品・作者などを理解し、知識を身に付ける。
(2学期) 科学・文明論、短歌の鑑賞、言語論	形式段落ごとに短く区切って正確に読み、キーワードや中心文を探し、段落メモをまとめながら段落の役割を考える。  段落メモにキーワードを入れ、各段落の役割を考え、文章全体を正確につかむ。
(3学期) 環境論、現代詩の鑑賞、漢字のチェック	論の中心となる段落に着目して要約文の内容を確定し、字数に合わせて短くまとめる。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	随筆、社会論、思想的文章、小説などさまざまな内容の文章を通して、文化や社会に対する関心を深め、積極的に関わろうとする姿勢を身に付けている。
書く能力	教材文の要約文を作ったり、設問に応じた的確な解答を作成したりできる。
読む能力	さまざまなジャンルの教材文を形式段落に短く区切って正確に読み、文章全体の内容を的確に把握できる。
知識・理解	あらゆる文章を理解するために、その構造や特色を理解し、豊かな語彙や言語知識を身に付けている。

科目名	古典演習	教科	国語	単位数	2
教材	①LT古文LT1(浜島書店) ②担当者作成プリント		教材費 (予定定価)	①589円 ②なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

○	自由選択科目	選択する学年	3
---	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	古典、特に古文に興味をもち、その読解のための確かな知識を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	文法事項の確認や、古文の解釈・内容把握を通して、古文読解力の基礎を身に付ける。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	記述式と選択式の問題にバランス良く取り組むことにより、古文読解の基礎力を養う。
評価方法	定期考査を実施する。課題への取り組みや提出物の内容などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 動詞・形容詞・形容動詞・副詞を中心とした文法事項の確認および基礎的なレベルの古文の問題演習。	『宇治拾遺物語』『古今著聞集』『発心集』などの説話文を中心にした、基礎的なレベルの古文を用いて問題演習を行う。
(2学期) 助動詞・助詞を中心とした文法事項の確認および標準的なレベルの古文の問題演習。	『竹取物語』『堤中納言物語』『源氏物語』などの物語文を中心にした、標準的なレベルの古文を用いて問題演習を行う。
(3学期) 敬語法・和歌の修辞を中心とした文法事項の確認および応用的なレベルの古文の問題演習。	『大鏡』『伊勢物語』『和泉式部日記』『蜻蛉日記』などの幅広いジャンルの文章を用いて、実践的な問題演習を行う。

評価の観点

関心・意欲・態度	演習問題などの課題に積極的に取り組み、古文についての理解や関心を深めようとしている。
読む能力	古文の内容を、構成や展開に即して的確にとらえることができる。
知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。



科目名	医療看護国語	教科	国語	単位数	2
教材	独自教材(演習問題、入試過去問題)		教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

<input type="radio"/> 自由選択科目	選択する学年	3	<input type="radio"/> 単一選択	<input checked="" type="radio"/> 複数選択可
------------------------------	--------	---	----------------------------	--

選択の条件	なし
選択のめやす	看護師・医療系大学・短期大学・専門学校に進学を希望する人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	看護系への就職、進学をするための看護系国語に対する基礎力の徹底をはかり、医療看護模試、入試に十分対応できる応用力・実践力を身に付けることを目標とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	各看護医療系大学、専門学校の過去の入試問題の演習を中心に学習する。入試で頻出の語句、漢字の読み書き、言葉の使い方、文学史、文章読解について学習する。必要に応じて小テストを実施する。
評価方法	定期考査を実施。授業への積極的な取り組みの姿勢、提出物の状況、小テストの取り組み方、結果などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
<p>(1学期)</p> <p>医療、看護系の大学、専門学校の基礎から標準レベルの入試問題を用いた演習問題を行う。</p> <p>入試問題に頻出する漢字を学習し、入試に必要とされる基礎学力の徹底をはかる。 将来、医療従事者の常識となる慣用句・ことわざ・四字熟語・故事成語を学習する。</p> <p>入試問題に頻出する文学史について学習する。</p>	<p>語彙、漢字、ことわざ、慣用句を学習し、国語の基礎学力を養う。</p> <p>評論、随筆、小説、詩歌、古文といった幅広い文章読解を通して、入試に対応できる実践力を身に付ける。</p> <p>プリント教材を用いて文学史について理解し、入試問題に対応できるようにする。</p>
<p>(2学期)</p> <p>1学期の学習内容を踏まえ、応用レベルの入試問題を用いた演習問題を行う。</p>	<p>入試の面接試験や、医療現場にも対応できる、適切な言葉遣いについて学び、コミュニケーション能力を高める。</p>
<p>(3学期)</p> <p>1、2学期の学習内容の総まとめを行う。 卒業後、進学先、就職先で必要となる適切な言葉遣いをおさえる。</p>	

評価の観点

関心・意欲・態度	医療看護従事者になるための試験・面接への対応、また、実際の医療現場で必要とされる専門用語の知識や患者とのコミュニケーションの取り方を意欲を持って身に付けようとしている。
話す・聞く能力	患者とのコミュニケーションを円滑にするため、医療専門用語の理解はもちろん、患者の信頼を得て、不安を取り除くための話し方、話の聞き方を身に付けている。
書く能力	将来医療従事者として、患者の容態、状況を正確に記載できるよう、語彙力、表現力を身に付けている。
読む能力	文章読解を通し、文書に記載された内容を的確に読み取ることができる。
知識・理解	生命に関わる仕事に携わることになることを意識し、迅速かつ正確に状況を判断し報告・連絡・相談ができるよう、話すこと、聞くことにおける十分な知識(語彙力・表現力)を身に付けている。

科目名	<b>小論文演習</b>	教科	国語	単位数	2
教材	①〈改訂版〉楽しく書ける作文・小論文 入門編「四〇〇字で書こう」(桐原書店) ②担当者作成プリント	教材費 (予定定価)	①498円 ②なし		

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	人間文化と芸術・子どもと暮らし・自然科学と情報
-----------------------	--------	------	---------	-------------------------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	3
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	小論文や作文の作成に興味をもち、その上達のための技術を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	自分の考えを、文章で論理的に表現する力を養うことを目標とする。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	実際にさまざまなテーマに沿って論理的な文章を書く。書いた文章の添削を通じて、各自の文章の欠点を改める。
評価方法	定期考査は実施しない。小論文の作成に関する基本的な知識の理解度(小テストなどで確認)、授業への取り組み(活動の様子、課題の提出状況)などを総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 小論文を書く準備 原稿用紙の使い方・文章の構成法 小論文の典型的な「型」	小論文を書くうえでの基本的な知識の習得する。 頭括型・尾括型などの構成パターンについて学ぶ。
(2学期) 小論文を書く① 出題形式別小論文作成法	テーマ型・課題文型・データ型・融合文型等、出題形式別の小論文作成方法の学習する。
(3学期) 小論文を書く② 2000字程度の長めの小論文の作成法	実際の入試問題を解くことにより、実践力を養成する。

評価の観点

関心・意欲・態度	毎時間の課題にまじめに取り組み、表現力を高めようと努力している。
書く能力	論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいた自分の考えを文章にまとめることができる。
知識・理解	作文・小論文の作成や課題文読解のために必要な語彙力を高めるとともに、文法や表記についての正しい知識を身に付けようとしている。

科目名	<b>実用国語</b>	教科	国語	単位数	2
教材	担当者作成プリントおよび「基礎から学べる！文章力ステップ」 (日本漢字能力検定協会)	教材費 (予定定価)	756円		

<input type="radio"/>	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	ビジネスコミュニケーション
-----------------------	--------	------	---------	---------------

<input type="radio"/>	自由選択科目	選択する学年	3
-----------------------	--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	漢字、文章の組み立て方など文章を書くための基礎を学びたい人。 グローバルな視点で言語的素養を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	実用的な文章を読み書きするための一般常識的な知識や技能を身に付けるとともに、 就職試験や入試にも対応できるような実践力を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	主に調べ学習や問題演習を通じて力を付ける。
評価方法	定期考査を行い、実用的な文章を読み書きするための国語力が養われているかを判定する。 また提出課題や発表に対する取り組みも含めて総合的に評価を行う。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 第1章 語彙・文法	語彙や文法について事前に調べ学習を行い、授業中に発表を行う。
第2章 資料分析	棒グラフ・表・折れ線グラフのデータと文章を対照させて読む方法を学ぶ。
(2学期) 第3章 文章読解	文脈における言葉の意味を捉える。指示語や接続語を捉える。段落の要点を捉える。 文や段落の役割を捉える。段落関係を捉える。文章の構成を捉える。文章の要旨を捉える。
第4章 手紙文	手紙に必要な知識を学ぶ。敬語の基本知識を学ぶ。 読んで分かりやすい表現を学ぶ。 適切な表現・表記を学ぶ。手紙文の推敲の仕方を学ぶ。手紙文を作成する。
第5章 意見文	事実と意見と感想を区別できるようにする。事実を思い出すトレーニングを行う。文章の構成について学ぶ。
(3学期) まとめ問題	意見文の構成について学ぶ。意見文中の事実のあり方を考える。理由の述べ方のポイント。 意見文を書く手順について。意見文を書く。  第一章から第五章までに学んだことを、演習形式で確認する。

評価の観点

関心・意欲・態度	日常生活における様々な文章を理解し、表現する力を高めるとともに、言語文化に対する関心を深めようとしている。
話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深めている。
書く能力	相手や目的にふさわしい形態や文体、語句などを考え、適切に選ぶことができる。
読む能力	様々な文章を叙述に即して的確に読み取ることができる。
知識・理解	文や文章の組み立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、知識を身に付けている。

科目名	<b>児童文学講座</b>		教科	国語	単位数	2
教材	独自教材(プリントなど)			教材費 (予定定価)	なし	

○	系列選択科目	必修系列	選択できる系列	子どもと暮らし
---	--------	------	---------	---------

自由選択科目	選択する学年	3
--------	--------	---

選択の条件	なし
選択のめやす	図書館司書や保育士・幼稚園教諭を目指す人。昔話や絵本に関心がある人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	日本の昔話等に関する基本的な知識を学び、自らその継承と普及ができる能力を養う。絵本の内容を正しく理解し、それを多方面で活用できる能力を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	伝統的な昔話や伝説などについて学ぶ。また、絵本を鑑賞し、読み聞かせの技能習得や絵本作りの実践などを行う。
評価方法	授業への取り組みの姿勢・提出物の状況・小テストの結果などから総合的に判断する。 定期考査は実施しない。

**学習計画**  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 昔話・伝説に関する基本的な知識を習得する。 伝説と昔話の違いについて 日本の昔話、伝説鑑賞 奈良の昔話、地域の昔話収集 世界の昔話・伝説との比較	動画視聴や絵本の鑑賞を通じて、主な日本の昔話や伝説について学ぶ。
(2学期) テーマに沿って絵本を集めたり、図書館などでの絵本展示の仕方について考えたりする。読み聞かせの技能を高める。	図書館司書の話や園児や児童との交流活動を行う。 絵本を読み、グループワークなどで絵本を紹介し合う。
(3学期) オリジナルストーリーを考え、絵本を作成する。	これまでの学習を通して、児童文学作品を作成する。

**評価の観点**

関心・意欲・態度	昔話や絵本に興味をもち、園児や児童に読み聞かせる技能の習得に取り組もうとしている。
話す・聞く能力	作品の特徴を生かして朗読するなどして、本の内容を園児や児童に読み聞かせるための技能(的確な読む速さ、声の大きさ、間の置き方など)を身に付けている。
書く能力	多くの昔話や絵本に対するあらすじや感想を書くことができ、評価をし合うことができる。
読む能力	昔話や絵本の内容を正しく読むことができる。
知識・理解	正しい知識に基づき、園児や児童の発達段階や季節等に適した本を選択できる。

科目名	スピーチ入門		教科	国語	単位数	2
教材	独自教材			教材費 (予定定価)	なし	

系列選択科目	必修系列	選択できる系列
--------	------	---------

自由選択科目	選択する学年	3	○ 単一選択 ☆ 複数選択可
--------	--------	---	----------------

選択の条件	なし
選択のめやす	正しい日本語、敬語の使い方を身に付けたい人、面接試験に対応したスピーチの力を身に付けたい人。
学習目標 (どのような力をつけるのか)	適切な日本語の使い方、場面に応じた言葉遣い、スピーチの力を身に付け、コミュニケーション能力を高める。自己PR、志望動機といった面接試験の問答にも対応した「話す力」を養う。
学習方法 (授業の進め方・学習の仕方)	演習プリント、ワークシートを作成し、スピーチにふさわしい言葉遣いを学ぶ。スピーチの実習を通して、スピーチにおけるマナー(話す姿勢、聞く姿勢)や言葉遣いを学ぶ。
評価方法	定期考査を実施。授業で使用するプリントの取り組む姿勢、提出状況、発言内容、小テスト、スピーチの発表内容、聞く姿勢など総合的に判断する。

学習計画  
(1年間の授業計画)

学習内容	学習活動
(1学期) 敬語、口語文法、語彙、漢字、など国語の基礎力養成。 「話すこと・聞くこと」の前提となるスピーチの基礎技術を学ぶ。 スピーチ実習 スピーチの姿勢、発声、抑揚といった基礎技術の学習 スピーチの構成	プリント、ワークシートを用いて、敬語、口語文法、語彙、漢字の演習問題を行い、文章作成における基礎的な国語力を養う。確認のため、適宜小テストを行う。 スピーチ原稿の作成、スピーチの実習を行う。 スピーチ手順を学ぶ。 スピーチ実習を学ぶ。 発表内容について質疑応答を行う。
(2学期) 場面に応じた言葉遣い 面接試験、電話対応、接客、各式典(結婚式など)でのスピーチにおけるマナー、言葉遣い スピーチ実習 1学期のスピーチ実習を踏まえ、式典でのスピーチの実践。	発表者を聞き手が評価を行う。 発表者自身も自己評価を行う。 各場面に応じた適切な言葉遣いについて、ワークシートを用いて学習する。
(3学期) 1、2学期の総まとめ。卒業式におけるスピーチを考える。	

評価の観点

関心・意欲・態度	「話す」ことに対して意欲的に取り組み、スピーチにふさわしい態度を心がけている。適切な日本語を学ぼうとする意欲が見られる。
話す・聞く能力	自らの意見や思いが相手に的確に伝わるような表現を用いてスピーチができる。場面に応じた、適切な言葉遣いできている。スピーチを聞き、話し方で工夫している点を
書く能力	レジュメ作成において、適切な文章表現を用いて、自らの意見や思いを文章にまとめることができる。
知識・理解	適切な日本語表現を理解し、自らの意見、思いを練り上げ、スピーチ、文章作成に生かすことができる。